

北海道福祉大学校

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。秋を迎える。学外に出る機会が、多くある。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。秋を迎える。学外に出る機会が、多くある。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。秋を迎える。学外に出る機会が、多くある。

社会福祉学科

「ソーシャルワーカーを目指す者」として
社会福祉学科3年 中川 愛理



私は、6月8日からの25日間、「クライアントやご家族の思いやその背景を理解する」という目的で、医療機関での実習をさせていただきます。

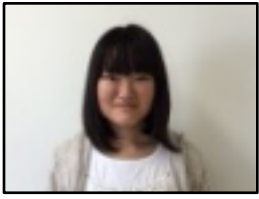
実習中の課題の一つであるケース研究を通して、私は、クライアントやご家族の「本当の思い」に辿り着くことの難しさ、その思いに沿った支援を行うことの難しさを学ぶことが出来た。ケースご本人、ご家族共に「早く退院して自宅に帰りたい(帰って来て欲しい)」と話されており、私はその意向に沿って退院支援計画の立案をしようと考えていました。しかし、その後の情報収集やかわりから、「本当にこの方は、在宅復帰に向けて積極的なのだろうか」と思う場面が多々見られ、困惑してしまいました。

その後の指導者や担当教員からの指導の中で、「クライアントとなる人々から表出された言葉がその方の本心と必ずしも一致するとは限らない」ということに気づいたことが、社会福祉士を目指す者としての大きな学びであると教えていただきました。

私は、本当の思いに沿うということの難しさを実感し、それと同時に、この職種楽しさや面白さも実感することが出来ました。卒業まで残り一年半、「クライアントはどんなソーシャルワーカーになら本心を打ち明けやすいのだろうか」ということを考え、理想のソーシャルワーカー像に近づけるよう日々励んでいきたいと思っています。

「入学から5カ月間で学んだこと」

社会福祉学科1年 村田 育美



入学してから5カ月が経ちました。この5カ月の間に知らなかったことや経験したことが無いことを体験することが出来ました。なかでも、ボランティアには4回参加し、今まで見てきた世界が狭かったことを実感しました。介護老人保健施設をはじめ、様々な施設をみることでできる良い機会にもなりましたし、何より夏祭りのお手伝いなどを通して、たくさんの方や職員の方と出会うことができたことがよい経験になりました。また、障がい者の活動をサポートするボランティアにも

参加しましたが、ここでは障がいをもつ方々が大変いきいきと生活している様子や、障がいをもつ方々の見方が変わるきっかけにもなり、もっとたくさんの人



5月の球技大会の様子

職員紹介

福祉保育学科 三河 美喜子

今年度より入職し、福祉保育学科1年生の副担任をさせていただきます。学生からたくさんのパワーを貰っています。「保育学科」ということでは、「保育」という意味を理解することが必要です。「不易流行」という言葉があります。松尾芭蕉が考え、後に弟子が伝えたということです。教科書で紹介されることがあります。「不易」とは変化しないこと、「流行」とは、その時々に合わせて変えていくことです。「保育」の営みは、昔も今も変わらないが、時代の変化に伴い柔軟に対応しなければならぬということです。そのひとつ、一つを学生と考えることが大事だと思います。芭蕉が、その時代に考え伝えたのは「自分に飽きること」すなわち、努力しなくては新しいものの本質が見えないということです。自分自身、「不易流行」という言葉を再確認し、努力していきたいと思っています。

介護福祉学科 高橋 綾

「貴方の笑顔で花が咲く。寒い冬でも暖かい。」と、女性の利用者さんは細くて冷たい手で私の頬を撫でてくれました。今でもこの方に言われた一言は忘れられません。体調が悪く部屋にいたことが多かったこの方に、この言葉を言われた時の私は決して花が咲くような状況ではなく、慌てて鏡をみた記憶があります。この方は、どのような気持ちでこの言葉を言ったのか今でも考えることがあります。これで良かったのか、何がダメだったのか、何故そうなのかと利用者さんの表情や行動、言動から紐解いていくことがあります。その時答えはでなくても、人生を重ねていくなかで感じ取れることもあります。介護の仕事は、続けてこそ多くの魅力に繋がると感じています。学生皆さんの今の学びが、やりがいや将来の成長に繋がるようにサポートしたいと思います。よろしくお願ひ致します。

介護福祉学科

「介護実習を終えて」
介護福祉学科2年 四ツ屋 若菜



2年次の実習では、実際に受け持ち利用者の介護計画を立案し、実施しました。情報収集を行って行く中で、その方のニーズは何なのかを考えアセスメントを行いました。今の生活だけではなく、その方が在宅で暮らしていた時の生活などにも目を向けて考えるということが大切なのだと実習を通して学びました。また、介護計画として必ず何かを考えて実施するのではなく、利用者との関わり、何よりも気づきが多くなることで、今の生活そのものがその方にとって生活の楽しみになっているのかという部分に気づくことが出来、その方を理解することにつながったと感じました。

また実践では、上手くいかなかった時になぜ上手くいかなかったのか、どこを修正すると上手くいくのか常に考えながら実践出来たと思います。たくさん実践させて頂いたことで、一人一人に合った介護方法を学ぶことが出来、個別ケアの理解も深まったと感じています。難しいと感じることもたくさんあり悩むことの多い実習でしたが、情報収集の大切さを再認識し、達成感を味わえた、

様々な表現をする秋だが、皆様にとってはどのような学生が現場実習に向かうか、「実習の秋」を迎える。様々な体験が出来ると思う。そこには、実習先の指し、人としての成長を遂げる機会を得ると共に、学びの場には、場面に応じた関わりを心掛け、学生の成長を保護者や施設の皆様にもご協力をお願いしたい。(岩)

「車椅子ソフトボール」を知り思ったこと
介護福祉学科1年 森 彩乃



6月22日、「障害の理解」の講義で、車椅子ソフトボール選手の石井康二さんと車椅子ソフトボール協会事務局長の山田憲治さんのお話を聞く機会がありました。私はそこで初めて車椅子ソフトボールというスポーツの存在を知りました。

車椅子ソフトボールとは北海道発祥のスポーツで、足の不自由な方もそうではない方も車椅子に乗ってソフトボールをします。性別や年齢に関係なく、障がい者と健常者が一緒にやってソフトボールができる奥深いスポーツだと思いました。石井さんや山田さんのお話を聞いて、もっと多くの人たちに車椅子ソフトボールのことを知ってもらいたいという強い気持ちが変わって来ました。

そして、7月4日に千歳アウトレットモールレラの駐車場で行われた全国大会を観に行きました。結果は石井さんが所属している東京レジェンドフェローズが優勝しました。他のチームの選手の方々も一生懸命車椅子を走らせソフトボールをしている姿を見て、とてもカッコいいなと思いました。観戦している私たちも選手の方たちと一緒に盛り上がり、楽しい一日になりました。

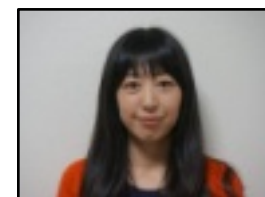


キャッチボールの様子

福祉保育学科

「言葉と声の力」

福祉保育学科2年 高橋 妃富



私たち福祉保育学科は、タツチレツスンでHBCアナウンサー鎌田強さんのお話を伺いました。まず最初に、言葉そして声というのはいかに力を持っていると感じました。鎌田さんが、話を始められただけで、瞬時にホール全体が楽しい雰囲気に変化したのです。それは、鎌田さんの話し方、声のトーンがそうさせたと思います。とても明瞭で、心地良く、気持ちが良い響きです。真似するには、何年も学ばなければならぬと思います。保育を学ぶ者として、子ども達の前で意識することは出来ると感じました。

実際に私は、保育実習に行った時、緊張して早口になってしまいました。きっと、そのような話し方では、子ども達はつまらないと感じてしまいます。温かくゆっくりと間を取り、話をするときに小さな子どもは安心します。言葉は解らなくても、様々な所から、子ども達は色々な事を感じます。声のトーンやスピードは自分の雰囲気も変えるので、注意し意識していきたいと改めて感じる事が出来ました。絵本の読み聞かせも細かく学び、まず絵本をしっかり読み込み、内容を理解し、共感することで自然に子ども達が注目し、楽しめるものになると感じ、とても勉強になりました。



講演を聴講する様子

「保育士としての第一歩」

福祉保育学科1年 嵯峨 絵未梨



平成27年4月8日に入学式を迎え、保育士の卵としての一歩を踏み出しました。環境、クラスメイト、何もかもが新しくここからの学校生活に期待と緊張で胸がいっぱいでした。

私は北海道福祉大学のオープンキャンパスに6回ほど参加しました。展示品から「保育にはこのような道具もあるのだな」という新しい発見や、「このようなものを使って授業をするのだな」という期待感が膨らみました。姉妹保育園が3園あり、実践的に学ぶことが出来るということにも強く惹かれました。そして最も魅力を感じたことは、学校の雰囲気です。先輩も先生方も優しく明るくユーモアがある人たちなので、このような環境で夢の実現に向け学びたいと感じました。

入学してから今日まであっという間でした。やはり、90分の座学に慣れるまでは大変でしたが、夢の実現に向けてしっかり知識をつけるために努力しています。ピアノ初心者の私はとても不安でしたが、先生の指導の元コツコツ練習することで技術的な面でも少しずつ成長できていると感じています。私の理想の保育士像は、子どもにも保護者

にも信頼される保育士です。これを実現するために日々努力を重ね、保育士としての知識や技術を身に付けていきたいです。

精神保健福祉学科

「改めて学ぶ今」

精神保健福祉学科 塚本 千鶴



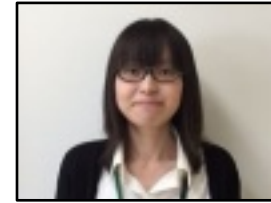
4月に入学したばかりですが、目まぐるしい学校生活の中で、という間に5か月が経ちました。私は今年の3月まで某福祉施設にて従事していました。私が仕事を辞め学校へ行き学ぼうと思った理由は、福祉職というものはとても幅広く自分にとって未知なことがまだまだたくさんあるということに仕事を通して気付いたからでした。

大学を出てからしばらく時間が経っているため進学に対しては、どういう人たちと一緒に学ぶのだろう、勉強についていけないかなどの不安が多くありました。実際は、クラスメイトのみなさん一人一人それぞれ様々な人生経験をしていることを知り、それぞれの想いがあるって学びを志しているということを知ることができました。

1年間という短い学びの時間ですが、ここで出会った仲間たちと励まし合いながら国家資格の取得、そして今後自分が人のために何ができるのかを熟考する時間を大切にしたいと思っています。学生という時間は限られておりとても有意義な時間であるということとを日々教えられています。

「見学実習を終えて」

精神保健福祉学科 瀬戸 あや



5月から7月にかけての間、就労継続支援事業所3か所と地域活動支援センター1か所それぞれ1日単位での見学実習をさせていただきました。各施設につき1日ずつという短い時間の中ではありましたが、利用者や職員の方々とのかわりを通して、教科書や参考書からはなかなか見えてこないことを学ぶことができました。

利用者の方々と一緒に作業をしたりお話を



アンケート結果のご報告

昨年度、保護者および施設の皆様に対して、この新聞に対するアンケートを実施致しました。たくさんの方にご協力頂き、有難うございました。7年もの間送付させて頂いていた学校新聞を振り返る良い機会とすることが出来ました。紙面上で申し訳ありませんが、集計結果と共に、今号からの改正点をご報告させていただきます。

改正点は、紙面をB4からA3に変更、文字を大きくして読みやすく、写真や挿絵を増やす、としました。集計結果では、改正点の「文字が小さく読みにくい」というご意見が多数ありましたので、大きめの文字にしました。全体の文字数を維持する為に改正点の「用紙を拡大」しました。施設の方からは、現在A4やA3が主流の為、用紙サイズの違いに戸惑いがあるというご意見もありましたので、解消されると思います。また、「文字が多い」とのご意見もありましたが、「もっと詳細が知りたい」というご意見もあり、紙面の都合も考えて現行通りで対応したいと考えています。そこで、改正点となる「記事に関連する写真を増やしたり、挿絵を増やしたり」して、視覚的な変化を考えていきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。

	保護者	施設
送付数	230件	265件
回答数	77件	129件
回収率	33.5%	48.7%

したりさせていただく中で、責任を持つて自分の仕事を行う方や、次に行いたい活動内容を職員の方に提案する方など、利用者の方々のいきいきとした姿を垣間見ることができました。また、各施設の職員の方々とお話をさせて頂いたとき、どの施設においても職員が利用者とかかわる際には常に意図が含まれていることを教えていただき、精神保健福祉士という職業の専門性に触れることができました。10月からの本実習では、今回の見学実習で得た学びを更に深めていくことができるよう、学びたいこととそのため必要な行動を念頭に置きながら、取り組んでいきたいと思っています。

【編集後記】
半年ぶりの発行となりました。半年間、学校の報告が出来なかつたことが悔やまれます。皆様の意見が参考になりました。学校の様子が伝わるように改善していきたいと思っております。ご感想がございましたら、学校新聞委員会までお寄せ頂けると幸いです。また、カラーの学校新聞をホームページに掲載しておりますので、そちらもご覧ください。次回は年末に発行予定です。(若)

平成27年10～12月行事予定

- 学園行事**
- 10/30(金) 大運動会(つ・どーむ)
- 社会福祉学科・介護福祉学科共通**
- 10/1(木)～11/5(木) 介護実習 (1年)
- 10/1(木)～10/7(水) 介護実習 (2年)
- 11/13(金) 介護実習報告会(1年)
- 社会福祉学科**
- 10/9(金) 社会福祉士全国统一模擬試験(3・4年)
- 10/25(日) 精神保健福祉士全国统一模擬試験(3・4年)
- 11/19(木) 卒業研究発表会
- 12/9(水)～12/11(金) 社会福祉主事実習(2年)
- 介護福祉学科**
- 12/7(月) 就労支援施設札幌福祉印刷見学(2年)
- 12/14(月) 北海道盲導犬協会見学(2年,1年課程)
- 12/21(月) 介護福祉士模擬試験(2年,1年課程)
- 福祉保育学科**
- 10/7(水) 施設実習報告会
- 10/14(水) 幼稚園見学(1年) 教育実習報告会
- 10/21(水) 異学年交流演習
- 10/29(木) 劇団四季観劇
- 11/11(水) 札幌視覚支援学校見学(2年) 先輩保育士講演(1年)
- 11/18(水) 音楽コンサート鑑賞
- 11/25(水) 体育大会
- 12/16(水) クリスマスコンサート
- 精神保健福祉学科**
- 10/1(木)～21(水) 精神保健福祉援助実習第1期
- 10/25(日) 精神保健福祉士全国统一模擬試験
- 10/26(月)～11/13(金) 精神保健福祉援助実習第2期
- 12/1(火) 実習報告会

発行元
専門学校北海道福祉大学校 学校新聞委員会
所在地：札幌市中央区南3条西1丁目15番地
電話：011-272-6085
http://www.yoshida-fukushi.jp